

CONFIDENTIAL

Copyright © 2007 by Zenkougai.

No part of this publication may be reproduced, stored in retrieval system, or transmitted in any means electronic, mechanical, photocopying, recording, or otherwise without the permission of Zenkougai.

This document provides an outline of a presentation and is incomplete without the accompanying oral commentary and discussion.

新型コロナウイルス感染対応マニュアル（発症時）

2020年3月

- P3 新型コロナウイルス感染症の症状と感染経路
- P4 初期症状（感染を疑うべき症状）の確認
- P5 感染が疑われる場合の対応方法－お客様感染が疑われる場合
- P6 感染が疑われる場合の対応方法－勤務時間外に感染が疑われる場合（職員共通）
- P7 感染が疑われる場合の対応方法－同居家族に感染が疑われる場合
- P8 感染が疑われる場合の対応方法－勤務中に、介護職に感染が疑われる場合
- P9 感染が疑われる場合の対応方法－勤務中に、厨房職に感染が疑われる場合
- P10 感染が疑われる場合の対応方法－勤務中に、専門職、事務職に感染が疑われる場合
- P11 新型コロナウイルス感染者が出た場合の対応
- P12 感染者発生時対応フロー
- P13 新型コロナウイルス感染者が出た場合（看護職員・介護職員）
- P14 新型コロナウイルス感染者が出た場合（リーダー・施設長）
- P15 新型コロナウイルス感染者が出た場合の廃棄物関連の対応
- P16 新型コロナウイルス感染症についての相談・受診の目安
- P17- 予防対策

CONFIDENTIAL

新型コロナウイルスは、潜伏期間も長く症状が軽度な場合が80%を超えている。

ただの風邪症状と類似しているが、高齢者や基礎疾患がある場合は重篤化しやすいため、注意が必要である。

感染経路は通常のウイルス同様と考えられている

■新型コロナウイルス感染症の症状

ウイルス性の風邪の一種である。発熱やのどの痛み、咳が長引くこと（1週間 前後）が多く、強いだるさ（倦怠感）を訴える方が多いことが特徴。

※重症化すると肺炎となり、死亡例も確認されているので注意が必要。 特にご高齢の方や基礎疾患のある方は重症化しやすい可能性が考えられる。

■潜伏期間

感染から発症までの潜伏期間は1日から12.5日（多くは5日から6日）といわれている。

■感染経路

新型コロナウイルスは飛沫感染と接触感染により感染がおこると言われている。

飛沫感染 感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つばなど）と一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染します。

接触感染 感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスがつきます。他の方がそれを触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ると粘膜から感染します。

エアロゾル感染 霧状に浮遊する粒子に混じったウイルスを吸引する

※はつきりしていないが指摘されています。

初期症状（感染を疑うべき症状）の確認

CONFIDENTIAL

下記症状が長期間つづくことが特徴であるため、以下の症状に当てはまる場合は新型コロナウイルスと疑う必要がある。

【初期症状（感染を疑うべき症状）】

- 37.5度以上の発熱が4日間以上続く
（高齢者の場合は2日間以上で判断※1）
- 強いだるさ
- 息苦しさ
- せき
- 下痢
- 胃腸疾患

【重症例】

- 肺炎
- 重症急性呼吸器症候群
（SARS）
- 腎不全
- 死亡

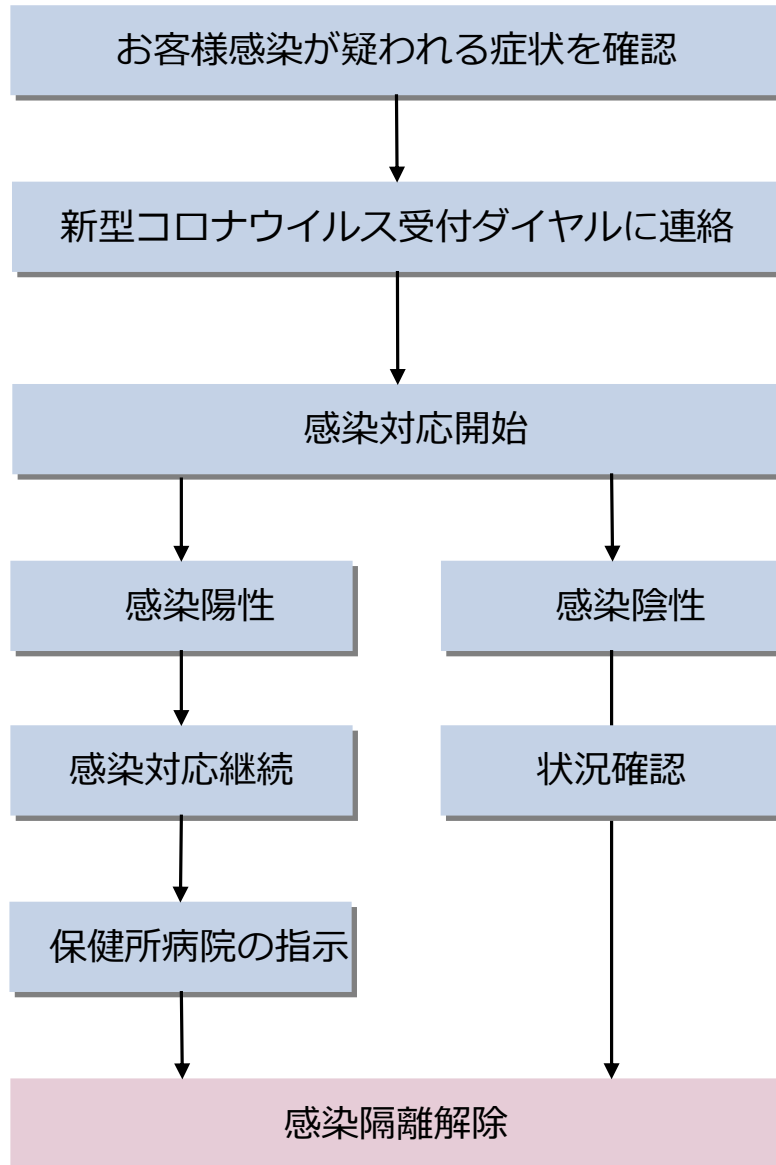
※1

以下のような方は重症化しやすいため、この状態が2日程度続く場合には、帰国者・接触者相談センターに相談を行う。

- ・ 高齢者 ・ 糖尿病、心不全、呼吸器疾患（COPD等）の基礎疾患がある方や透析を受けている方 ・ 免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方
- ・ 妊婦の方については、念のため、重症化しやすい方と同様に、早めに帰国者・接触者相談センターに相談する。

CONFIDENTIAL

お客様に感染が疑われる症状を確認したら以下のフローに従い速やかに関係各所へ連絡、対応を図る。



- 上長へ報告。（※P10フロー参照）
- 合わせて陽性の場合を想定し、準備を行う。各関係機関に状況を整理し通達。
- 保健所からの指示内容を法人に報告。
スタンダードプリコーションにて感染隔離対応開始
- 陰性の場合は、法人からの指示で対応を検討・協議

感染者が発生した時点でフロア隔離

当該フロア職員のロッカーの荷物をフロアへ引き上げ（出勤毎に職員の荷物全て） → 指示をして取りに行き、他フロア職員との接触を回避。その後消毒

（感染後の移動には階段を使用することを徹底）

職員荷物引き上げ後に消毒実施 → 専門業者への発注を検討

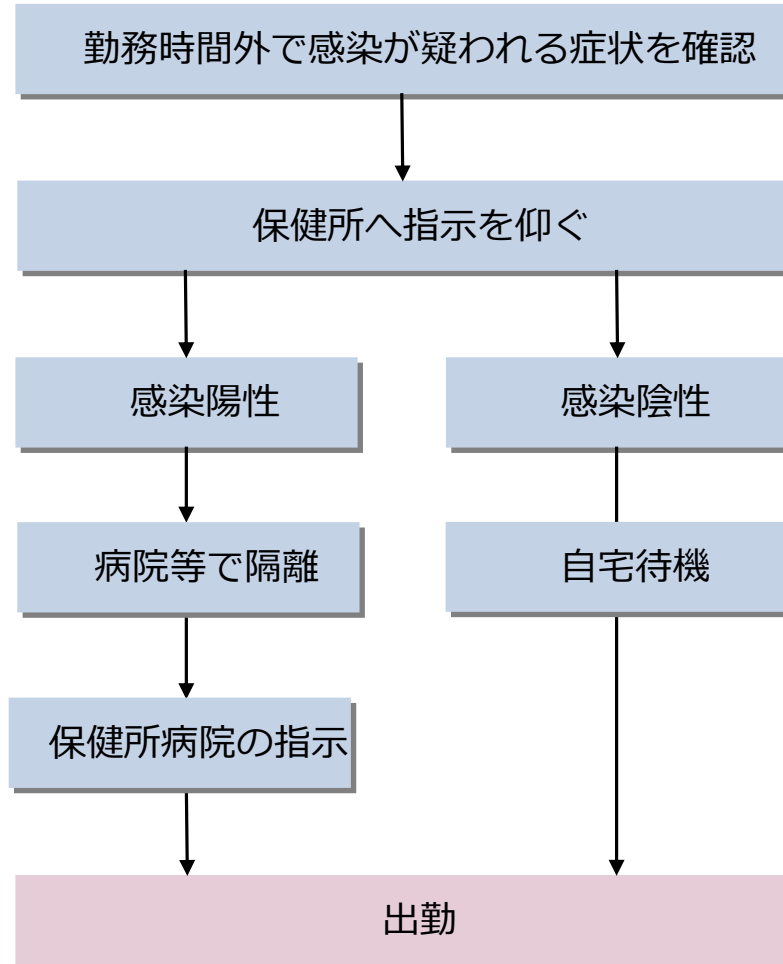
当該フロア職員は職員通用口を使用、その他は、裏口自動ドアからの出入りに切り替え

感染が疑われる場合の対応方法

－勤務時間外に感染が疑われる場合（職員共通）

CONFIDENTIAL

施設外で感染が疑われる症状がでた場合には、速やかに上長へ報告し、感染の有無が判明するまでは自宅に待機する。



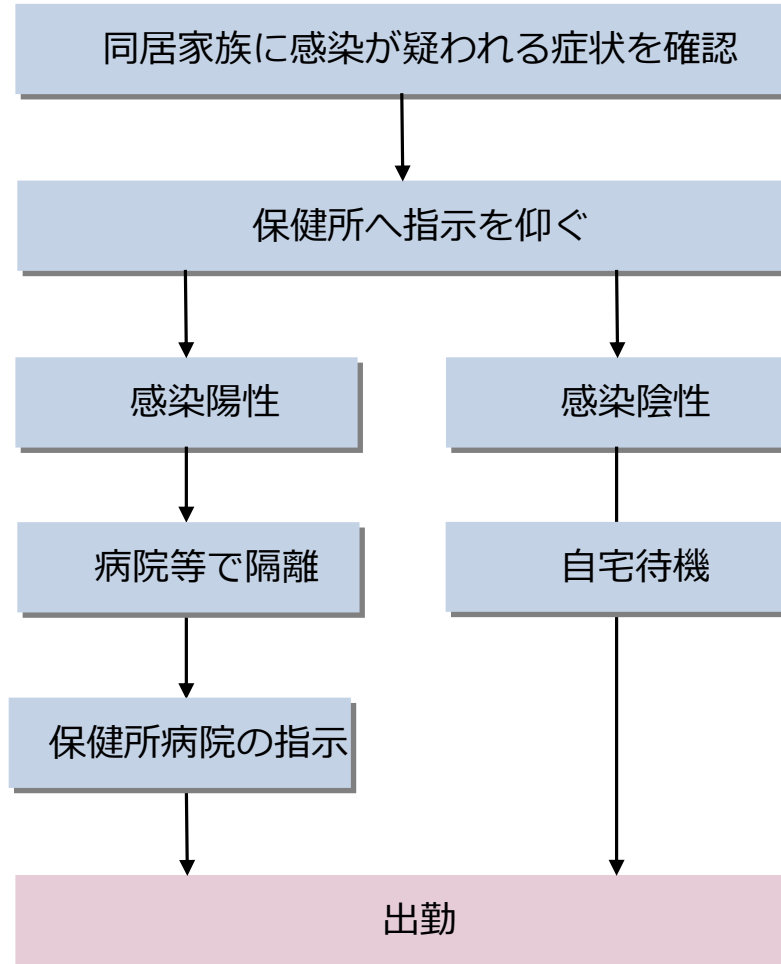
- 上長へ連絡し自宅待機する。
「出勤停止」
- 至急保健所に連絡し指示を仰ぐ。すみやかに法人内で共有し、対策を図る
- 上長へ検査結果を報告し指示を仰ぐ。
陰性の場合も体調確認の上必要な日数自宅待機
- なるべく外出しないようにする。
状況は常に上長へ報告。
- 2週間経過後、体調の変化がない場合、法人へ報告の旨出勤を検討

感染が疑われる場合の対応方法

－同居家族に感染が疑われる場合

CONFIDENTIAL

同居家族に感染が疑われる症状がでた場合には、自分の感染の可能性もあるため、速やかに上長へ報告し、感染の有無が判明するまでは自宅に待機する。



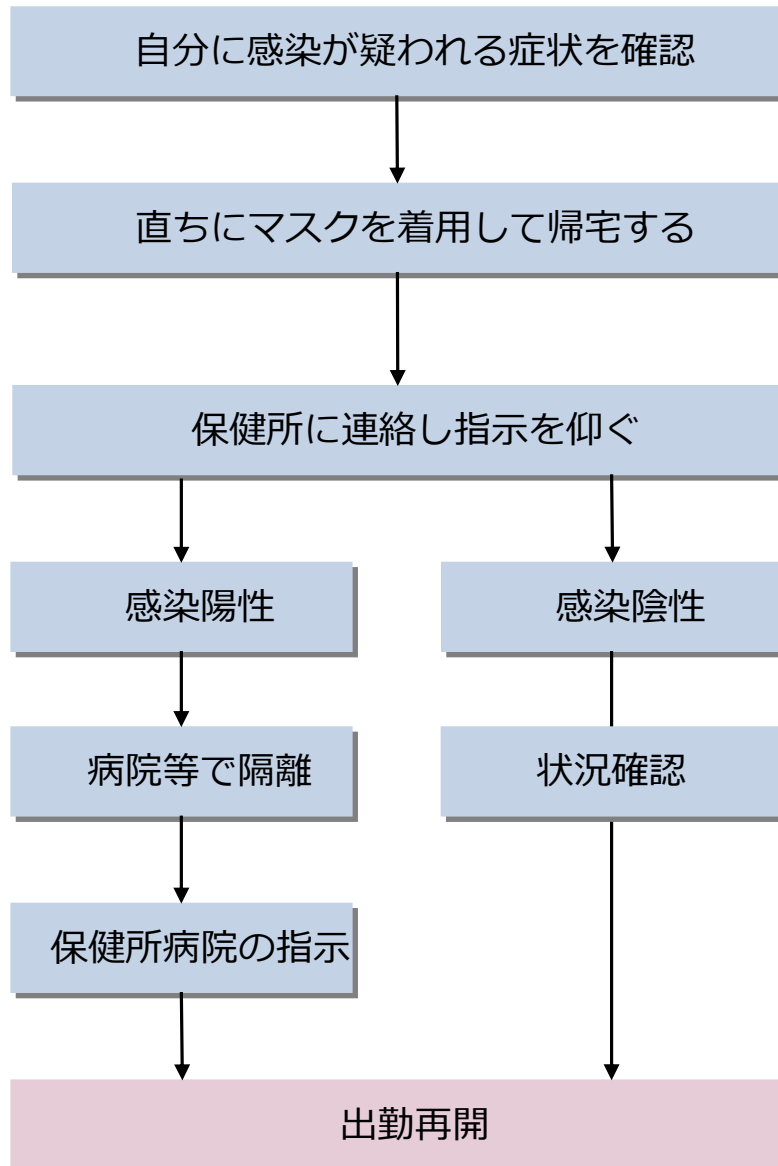
- 上長へ連絡し自宅待機する。
「出勤停止」
- 該当部署の職員が濃厚接触に該当するか至急保健所に確認。すみやかに法人内で共有し、対策を図る
- 上長へ検査結果を報告し指示を仰ぐ。
- 自宅などで待機。なるべく外出しないようにする。
状況は常に上長へ報告。
- 同居家族と離れてから2週間経過後、体調の変化がない場合、法人へ報告の旨出勤を検討

感染が疑われる場合の対応方法

－勤務中に、介護職に感染が疑われる場合

CONFIDENTIAL

自分自身に感染が疑われる症状を確認したら以下のフローに従い速やかに関係各所へ連絡、速やかに帰宅する。
その後の対応は以下のフローの通り。



- 上長に連絡し、ロッカーへ荷物をとりにいく。
- マスクを着用し、荷物を持って速やかに帰宅
職員通用口まで階段を利用し帰宅。なるべく手すり等には触らないようにする
- 保健所からの指示内容を上長に報告。
体調変化があれば、連絡できる状況であれば連絡をいれるようにする
- (陰性の場合も、原則2週間以上の出勤停止とする。)
- 陰性の場合も、数日で陽性への変化が確認されているため、濃厚接触者の場合は2週間出勤停止。それ以外の場合は法人の指示を仰ぐ
- 上長または感染対策本部へ再受診の結果(※)を報告する。
(※ 受診医療機関にて出勤の可否判断を必ず仰いでおく。)
- いずれの場合も法人の許可を得てから出勤する。

感染が疑われる場合の対応方法

－勤務中に、厨房職に感染が疑われる場合

CONFIDENTIAL

自分自身に感染が疑われる症状を確認したら以下のフローに従い速やかに関係各所へ連絡、速やかに帰宅する。
その後の対応は以下のフローの通り。

感染対応開始

- 感染者の行動ルート含め、厨房内の器具・設備の消毒を実施

① 法人内厨房職員で食事提供継続可と判断した場合（濃厚接触者以外で勤務が組める場合）

調理作業



上下膳作業

- 感染者が発生した施設の厨房での調理作業は見送り
法人内の別施設で調理を行う【清潔作業】
- 厨房以外の清潔な場所にて、配食された食事を振分け（盛付）し、各ユニットへ配膳する【清潔作業】
- 下膳された食器類は施設内の厨房にて洗浄実施【汚染作業】

② 法人内厨房職員で対応不可と判断した場合

配食サービスを依頼

- 粥や刻み食の対応ができる弁当等の配食サービスを依頼する

③ ②の手配までの間で食事提供ができないと判断した場合

非常食を提供

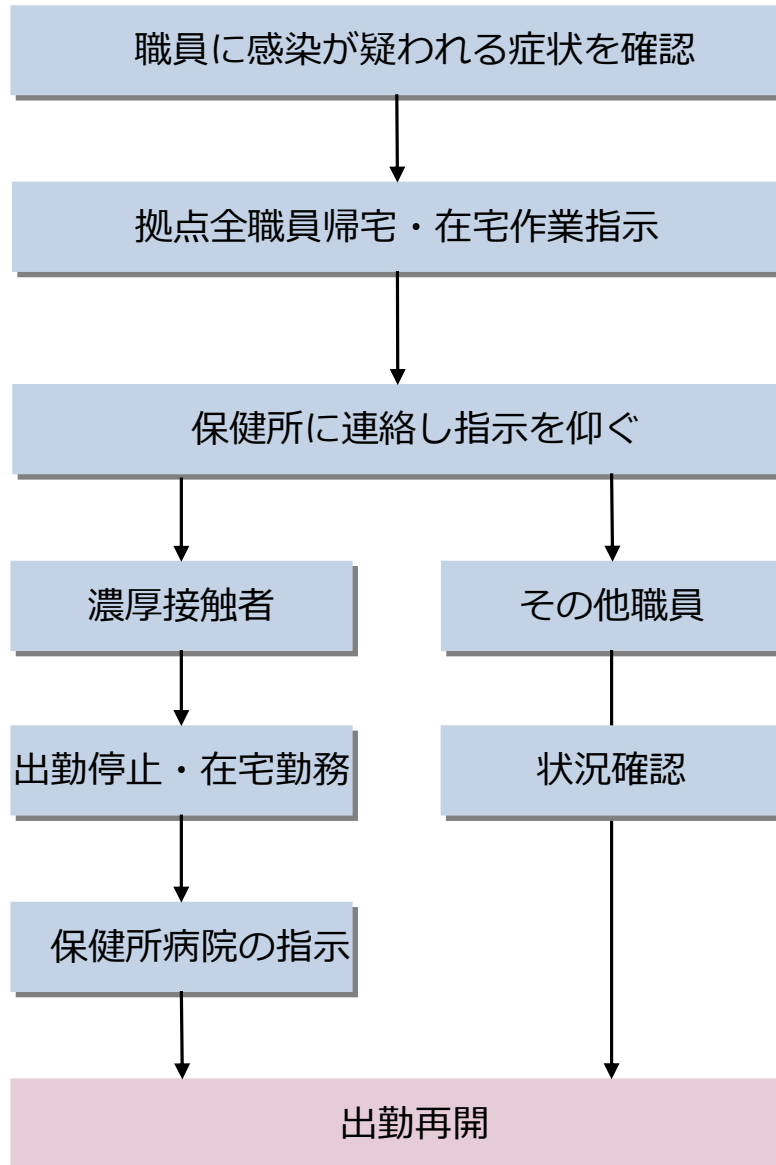
- 災害時の備蓄計画に基づく内容で提供

感染が疑われる場合の対応方法

－勤務中に、専門職、事務職に感染が疑われる場合

CONFIDENTIAL

自分自身に感染が疑われる症状を確認したら以下のフローに従い速やかに関係各所へ連絡、速やかに帰宅する。
その後の対応は以下のフローの通り。



- レポートラインにて速やかに上長に報告
- 電話をサントフェに転送設定
- 感染者の行動ルート含め、拠点内の設備・備品の消毒を実施
- 濃厚接触者の特定
- 濃厚接触者は2週間の出社禁止
- 濃厚接触者を出勤停止とするか在宅勤務とするかは、当人の業務内容を鑑みて法人にて判断
- 濃厚接触者以外も、全員毎朝体温測定、上長に報告後出社
- 感染者、出勤停止者の多い部署は基本機能の維持に機能縮小

新型コロナウイルス感染者が出た場合の対応

CONFIDENTIAL

法人施設内において、感染者（お客様、職員、委託業者）が発生した場合は、速やかに各関係者へ報告を行う。

■ 関係機関への連絡

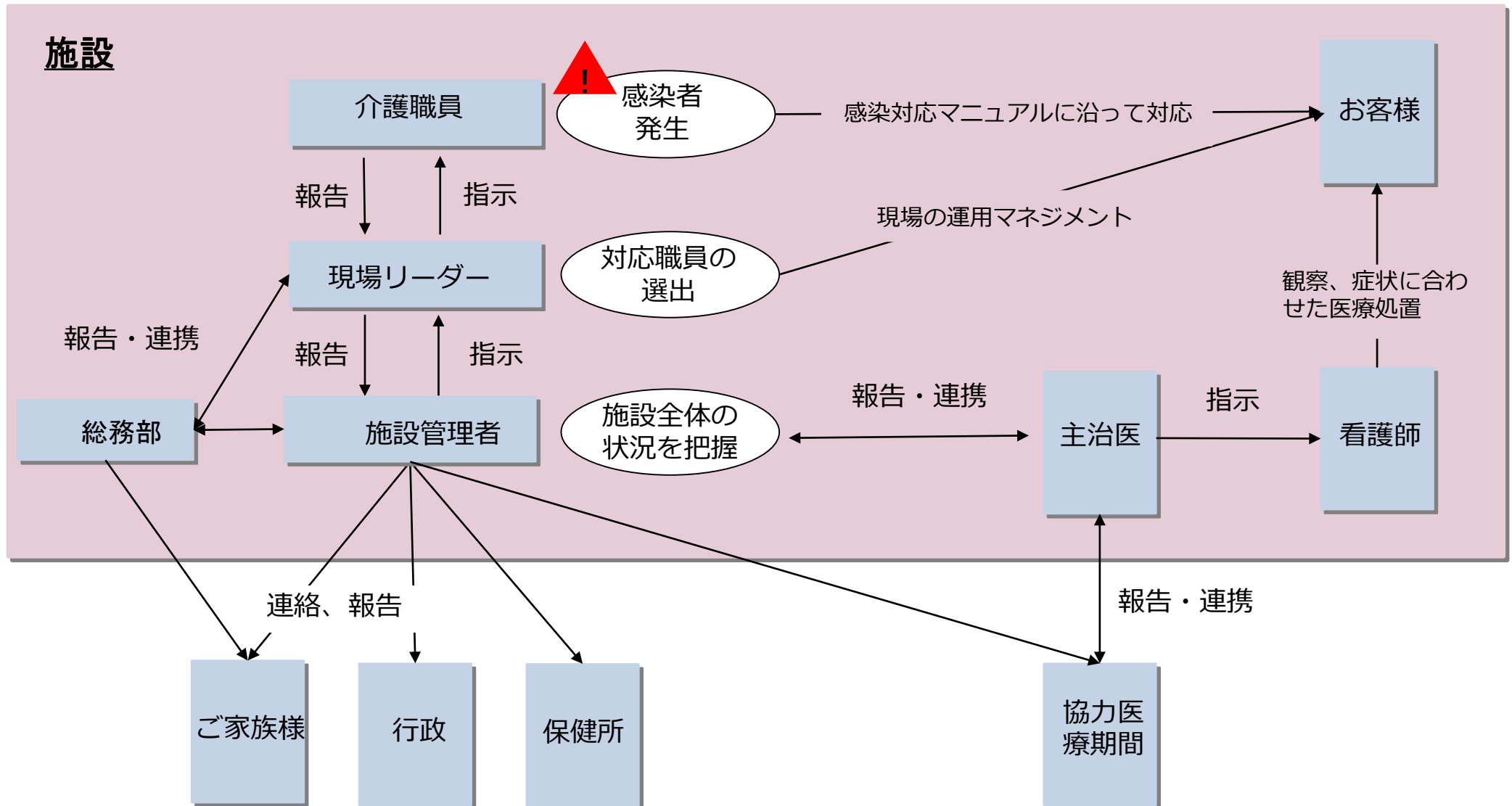
関係機関	いつ	誰が	どこに	どのように
行政関係	感染者発生時から毎日	施設管理者	東京都、区、管轄保健所	電話にて報告指示を受ける。在宅系サービスの中止を報告。
地域	感染者発生時から定期的に	施設管理者	町会、管轄地域包括支援センター	電話にて報告。感染状況を常に共有する。
取引先	感染者発生時	総務部	歯科、清掃協力会社、その他協力会社	来設禁止/感染フロア立入禁止の旨を伝える
ご家族様	感染者発生時から定期的に	施設管理者、現場リーダー、事務	キーパーソン	電話にて報告。
医療機関	感染者発生時	施設管理者	主治医・受診履歴のある病院	感染の状況報告。濃厚接触者含。
保健所	感染者発生時	施設管理者	担当地域	電話にて状況確認。指示を受ける。

感染者発生時対応フロー

CONFIDENTIAL

感染者が確認された場合には、社内での感染拡大を防ぐために次のような連絡・対応フローをとる。

■ 感染症疑いのお客様が発生



CONFIDENTIAL

感染者が確認された場合には、社内での感染拡大を防ぐために次のような対応を取る。

看護職員・介護職員の対応

■お客様への対応

- ・他者への感染防止の為、該当フロアのお客様は原則居室対応にする
- ・微熱、咳、鼻水、倦怠感等のあるお客様については、管理者、看護へ相談し、対応の検討を行なう
- ・使い捨て食器での食事提供

■感染症対応にて介助を行う

- ・ガウン、キャップ、手袋、ゴーグル、マスク、靴カバーを着用。
- ・手袋、マスク、キャップ、靴カバーについては、1ケア1ディスポ
- ・ガウン、ゴーグルは、1人に対して1日1枚の使用
- ・リビング内でもガウン等を着用

■感染対応職員は、他のユニット配置の職員との接触がないようにする

- ・着替えは指定の場所にて行う。ロッカー使用禁止
- ・フロア移動する際は、手洗い・うがいを行い、階段を使用する。
- ・他ユニットへの立ち入り禁止。
- ・喫煙禁止

■体調管理を徹底する

- ・出勤時、検温チェック表を記入し、当てはまる項目がある場合はリーダーに報告する。
- ・コロナウィルス感染症の症状があった場合は、必ずリーダーに報告する。
- ・手洗い、うがいの徹底。（施設内だけでなく、施設外でも徹底すること）

■マニュアル通り換気や消毒を実施する。

- ・5:00、朝食後、昼食後、おやつ後、夕食後の1日5回、10分程度窓を開けて、換気を行なう
- ・食事用テーブルを食前食後、おやつ前後に行なうこと
- ・夜勤帯でテーブル、机、床など利用者が触れた箇所、全ての消毒

感染者が確認された場合には、社内での感染拡大を防ぐために次のような対応を取る。

現場リーダーの対応

- 対応職員の選出
 - ・ 発生ユニットの職員を中心に対応に当たる職員を選定
 - ・ 人員不足が予想されるが感染拡大防止が第一のため、事務職員、専門職は後方支援に徹する
 - ・ 施設内での就業制限、サービス制限をかける
- 現場の状況確認、運用マネジメントに注力
- 必要物品の管理
 - ・ 総務部と調整の上、必要物品を該当フロアに設置（館内リスパspanデミックモード継続、リスパS調達）
 - ・ 不足することがないように、使用状況について適宜確認

施設長の対応

- 感染対策本部設置
 - ・ 全体状況確認
 - ・ SS、デイサービスは全て受け入れ中止（SSについて現利用者については、ご家族と調整）
 - ・ 発生ユニットの職員を中心に対応に当たる職員を選定
- ご家族への連絡
 - ・ 事務と協力して対応
 - ・ 感染が確認された利用者については、毎日報告。それ以外の利用者家族には3日程度に1度報告。状況変化時は適宜実施
- 保健所との連携
- 管轄行政と連携
- 協力医療期間と連携
 - ・ 重度者を優先に受け入れ要請を実施

CONFIDENTIAL

感染者が確認された場合には、社内での感染拡大を防ぐために次のような対応を取る。

【感染者・濃厚接触者のごみを捨てる場合】

■居室内の感染ごみや汚染衣類等をまとめる

- ・足拭きマットの回収を行い、感染ごみとして破棄
- ・バイオハザードBOXは、ガムテープにてH貼りにし密封する
- ・下拭きタオル、黄色タオルは、それぞれ分けて透明のゴミ袋に入れる
- ・リネン類は、透明ゴミ袋に入れ、「感染症」と記入する
- ・汚染衣類は、袋に入れ封を縛り、フロアの汚物室にて汚物を取り除いた後、85度以上の熱湯で1分以上消毒する。（次亜塩素酸を使用すると色落ちする）

・居室を出る際、足カバーを取る



×



○

■フロアの汚物処理室へ

- ・居室からベランダを通り、EVホールからフロアの汚物処理室へ移動する。
→ユニット内を通らない。
- ・ごみと汚染物等をダムウェーターに乗せたら、手洗いをし、手袋を交換する。

・手洗いし、ディスポ手袋の交換

■ダムウェーターで1階のごみ庫へ

- ・感染ごみ用ダンボールは、封を確認。
- ・下拭きタオル、黄色タオルは、袋のまま感染症用のバケツへ入れる。
- ・ガウン等を脱ぎ、職員の移動は、階段を使用。

・ガウン等をすべて脱ぎ、手洗い実施

■終了後ユニットの手すり拭き、床のモップがけ実施

CONFIDENTIAL

保健所へ連絡し、医療機関にかかる際には以下注意して対応する

■ 相談後、医療機関にかかるとき

- ・ 帰国者・接触者相談センターから受診を勧められた医療機関を受診してください。複数の医療機関を受診することは控える
- ・ 医療機関を受診する際にはマスクを着用するほか、手洗いや咳エチケット（咳やくしゃみをする際に、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖を使って、口や鼻をおさえる）の徹底を行う。

帰国者・接触者電話相談センター」受付時間、電話番号等

受付時間	設置期間	電話番号
平日：日中 各保健所の開所時間による （概ね9時～17時、詳細は下記）	各保健所の相談センター	（詳細は下記） [最寄りの保健所の相談センターにご連絡ください]
平日：17時～翌9時 土日祝日：終日	都・特別区・八王子市・町田市 合同電話相談センター	03-5320-4592

予防対策

- P19 新型コロナウイルス感染症の予防対策－手洗いの徹底
- P20 新型コロナウイルス感染症の予防対策－手洗いミスの多い部分
- P21 フロア、ユニットでの手洗いの方法
- P22 正しい検温の方法
- P23 新型コロナウイルス感染症の予防対策－咳エチケット
- P24 標準予防策（スタンダードプリコーション）
- P25 ディスポ手袋の装着手順
- P26 ディスポ手袋を外す手順
- P27 ディスポ手袋＋ゴーグルの装着手順
- P29 新型コロナウイルス感染症の予防対策－マスクの着脱方法
- P30 ディスポ手袋＋ゴーグルを外す手順
- P31 ディスポ手袋＋ディスポエプロン＋ゴーグルの装着手順
- P33 ディスポ手袋＋ディスポエプロン＋ゴーグルを外す手順
- P35 ディスポ手袋＋レインコート＋ゴーグルの装着手順
- P37 ディスポ手袋＋レインコート＋ゴーグルの外す手順
- P39 新型コロナウイルス感染症の予防対策（消毒液）

CONFIDENTIAL

■手洗いの徹底

外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などに こまめに石けんやアルコール消毒液などで手を洗いましょう。

正しい手の洗い方

手洗いの
前に

- ・爪は短く切っておきましょう
- ・時計や指輪は外しておきましょう



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



手の甲をのばすようにこすります。



指先・爪の間を念入りにこすります。



指の間を洗います。



親指と手のひらをねじり洗いします。

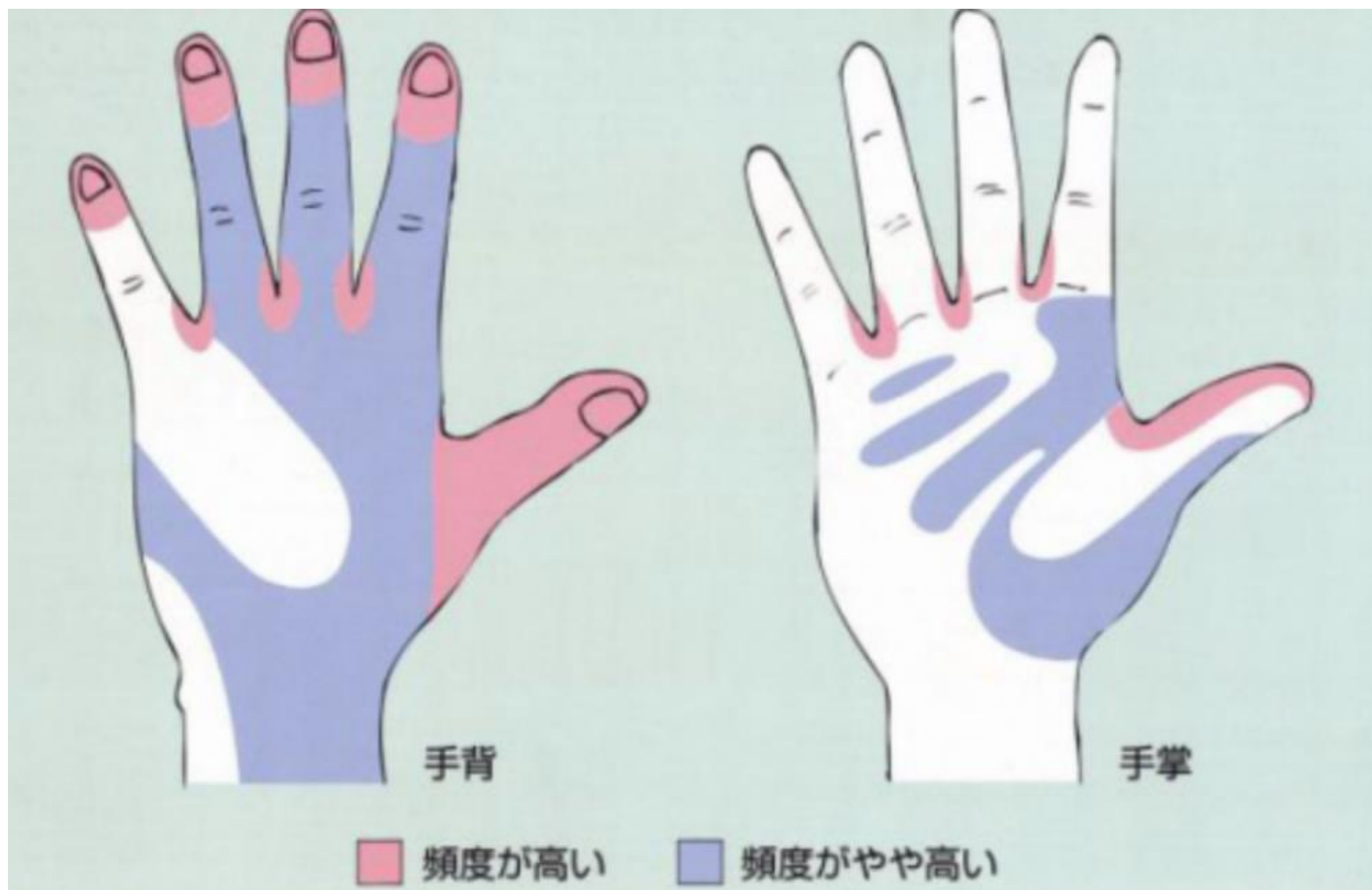


手首も忘れずに洗います。

<正しい手洗いの方法>

- ① 液体石けんを泡立て、手のひらをよくこすります。
- ② 手の甲を伸ばすようにこすります。
- ③ 指先とつめの間を念入りにこすります。
- ④ 両指を組み、指の間を洗います。
- ⑤ 親指を反対の手でにぎり、ねじり洗いをします。
- ⑥ 手首を洗い、よくすすぎ、その後よく乾燥させます。

■手洗いミスの多い部分



フロア、ユニットでの手洗いの方法

CONFIDENTIAL



①流水で予備洗いする



②ハンドソープをつける



③手掌を合わせてよく洗う



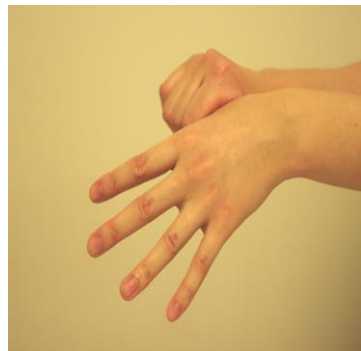
④手の甲を伸ばすように洗う



⑤指先と爪の間をよく洗う



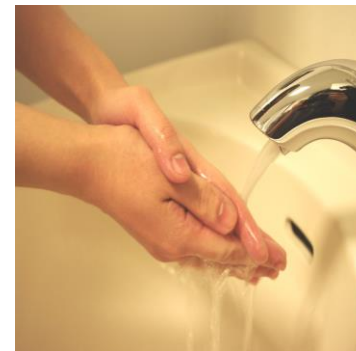
⑥指の間を十分に洗う



⑦親指と手掌をねじり洗う



⑧手首を洗う



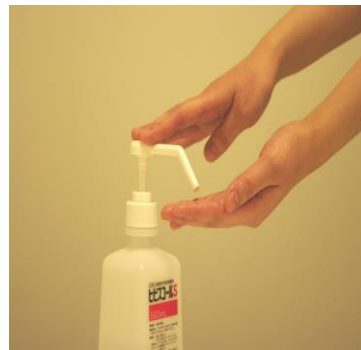
⑨流水で丁寧に洗い流す



⑩ペーパータオルで拭き取る



⑪ペーパータオルで蛇口を閉める



⑫手指消毒を行う

【注意点】

1. 必ず流水で実施する。
2. 15秒以上かけて丁寧に洗う。
3. 固形石鹸は、ウイルスが付着しているおそれがあるため、液体石鹸(ハンドソープ)を使う。
4. 共有のタオルなどは使用せず、必ずペーパータオルやハンドドライヤーを使用する。

正しい検温の方法

CONFIDENTIAL

- ①ワキのくぼみの中央に体温計の先端をあてる



体温計の先を下から上に向けて、押し上げるようにはさむ。

- ②体温計が上半身に対し30度くらいにしてワキをしっかり閉める



ワキが密閉するようにしっかり閉じ、ヒジをわき腹に密着させる。さらに体温計をはさんだほうの手で、もう一方の手のヒジを軽く押さえる。

- ③平衡温（*1）になるまで、じっとしておく



平衡温まで、水銀体温計や実測式体温計なら10分以上。予測式体温計なら40～90秒。（電子音になる）

【検温時の注意点】

- 1、飲食や入浴、運動などをした後および外出後の30分間は、検温に適さないので避ける。
- 2、測る前には、必ずワキの汗はしっかり拭きとる。
- 3、体温計によって測定方式が異なるため、取扱説明書にて測定時間を予め確認しておく。
- 4、検温中は動かず、じっとしているのが基本。途中で体温計を取り出したら、最初からやり直す。

※1 平衡温とは・・・ 体温計をワキの下で測定する場合、ワキの下へ入れてから体の内部の温度と同じくらいの温度になった状態をいう。

CONFIDENTIAL

■咳エチケット

咳などの症状がある方は、咳やくしゃみを手で押さえると、その手で触ったものにウイルスが付着し、ドアノブなどを介して他の方に病気をうつす可能性がありますので、咳エチケットを行ってください。

3つの咳エチケット 電車や職場、学校など人が集まる場所でやろう

 ① マスクがない時 ① マスクを着用する (口・鼻を覆う) 鼻から顎までを覆い、隙間がないようにつけましょう。	 ① とっさの時 ② ティッシュ・ハンカチで 口・鼻を覆う ティッシュ:使ったらすぐにゴミ箱に捨てましょう。 ハンカチ:使ったらなるべく早く洗いましょう。	 ③ 袖で口・鼻を覆う マスクやティッシュ・ハンカチが使えない時は、袖や上着の内側で口・鼻を覆いましょう。
---	---	---

■手指消毒

すべての医療行為の基本となり、感染防止に対して一番大きな役割を果たすのが手指衛生（手洗い、または手指消毒）である。

アルコールによる手指の消毒手順

病室入口、オーバーテーブルに設置されている
アルコール性手指消毒剤はご自由にお使いください。



ディスポ手袋の装着手順

CONFIDENTIAL



①手指消毒する。



※マスクを同時に着用する場合には、
このタイミングで着用する。
(N95マスクに限定するものではない)



②ディスポ手袋を取り出す。



③手首部分のへりを持って、手のひらを差し込む。



④「③」と同じ要領で、もう一方の手にも装着する。



⑤装着完了。

ディスポ手袋を外す手順

CONFIDENTIAL



①手袋の片側のヘリを掴んで、手袋の内側が外側になるように外す。



②先に外したほうの手の指で、もう片方の手袋のヘリ部分を引っ掛けて、内側が外側になるように外す。



③手袋は、必ずビニール袋に入れ、口をしっかり閉じてから、ゴミ箱へ破棄する。



④手を洗う。



⑤手指消毒する。

ディスポ手袋+ゴーグルの装着手順①

CONFIDENTIAL



①手指消毒する。



※マスクを同時に着用する場合には、
このタイミングで着用する。
(N95マスクに限定するものではない)



③ディスポ手袋を取り出す。



③手首部分のへりを持って、手のひらを差し込む。



④「③」と同じ要領で、もう一方の手にも装着する。



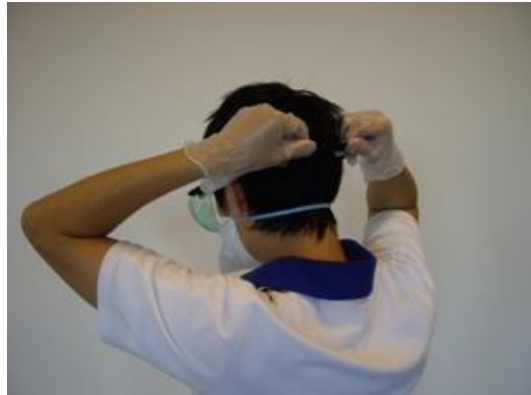
⑤ディスポ装着完了。

ディスポ手袋+ゴーグルの装着手順②

CONFIDENTIAL



⑥片方の手でゴムを頭上まで上げ、もう片方の手でプラスチック部分を持って目の周辺に密着させる。



⑦頭上まで持ち上げたゴムを、後頭部で固定する。



⑧ゴーグルと顔の間に隙間がないか、確認する。



⑨装着完了。

CONFIDENTIAL

■ マスクの着脱方法

着用方法



ノーズピースに折り目をつける



ゴムひもを耳にかける



ノーズピースを顔の形に合わせる



蛇腹を伸ばし鼻と口を覆う

脱ぐ方法



ゴムひもを持って外す



マスクを廃棄し手指衛生を行う

注 使用後のマスク表面は微生物に汚染されている可能性があるため、触れないようにします



ディスポ手袋+ゴーグルを外す手順



①ゴムバンドに触れずに、プラスチック部分を握って、引っ張りあげてゴーグルを外す。



②手袋の片側のヘリを掴んで、手袋の内側が外側になるように外す。



③先に外したほうの手の指で、もう片方の手袋のヘリ部分を引っ掛けて、内側が外側になるように外す。



④手袋は、必ずビニール袋に入れ、口をしっかりと閉じてから、ゴミ箱へ破棄する。



⑤手を洗う。



⑥手指消毒する。

ディスポ手袋+ディスポエプロン+ゴーグルの装着手順①



①眼鏡、指輪、時計、アクセサリ、ネクタイ等は全てはずす。



②手指消毒する。



※マスクを同時に着用する場合には、このタイミングで着用する。
(N95マスクに限定するものではない)



③一重目のディスポ手袋を取り出す。



④手首部分のへりを持って、手のひらを差し込む。



⑤ガウンを着用する。
袖の穴に親指をかけ、着用する。

ディスポ手袋+ディスポエプロン+ゴーグルの装着手順②

CONFIDENTIAL



⑥まず両袖を通してから背中へまわす。



⑦背中のを止める。



⑧片方の手でゴムを頭上まで上げ、もう片方の手でプラスチック部分を持って目の周辺に密着させる。



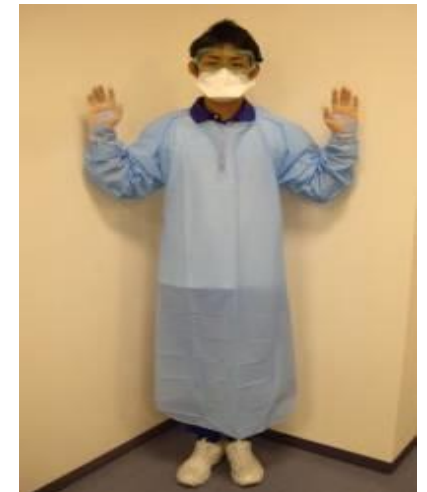
⑨頭上まで持ち上げたゴムを、後頭部で固定する。



⑩ゴーグルと顔の間に隙間がないか、確認する。



⑪二重目のディスポ手袋を装着する。⑫ディスポエプロンの袖は一重目と二重目の手袋の間に入れる。



⑬装着完了。

ディスポ手袋+ディスポエプロン+ゴーグルを外す手順①



①二重目の手袋を外す。手首付近のヘリを掴まんで、手袋の内側が外側になるようにする。



②首の後ろの部分を作り切る。



③首・肩から手首のほうへ脱ぎ下ろす。その際、外側が内側になるようにする。



④外側が内側になった状態で、外側には触れないようにして丸める。



⑤丸めたエプロンは、必ずビニール袋に入れ、口をしっかりと閉じてから、ゴミ箱へ破棄する。



⑥ゴムバンドに触れずに、プラスチック部分を握って、引っ張りあげてゴーグルを外す。

ディスポ手袋+ディスポエプロン+ゴーグルを外す手順②



⑦一重目の手袋の片側のヘリを掴まんで、手袋の内側が外側になるように外す。



⑧先に外したほうの手の指で、もう片方の手袋のヘリ部分を引っ掛けて、内側が外側になるように外す。



⑨手袋は、必ずビニール袋に入れ、口をしっかりと閉じてから、ゴミ箱へ破棄する。



⑩手を洗う。



⑪手指消毒する。

ディスポ手袋+レインコート+ゴーグルの装着手順①



①眼鏡、指輪、時計、アクセサリ、ネクタイ等は全てはずす。



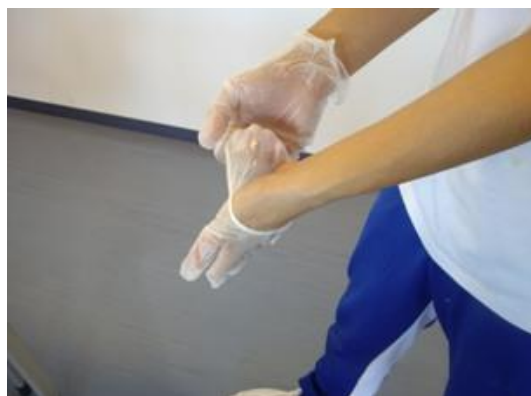
②手指消毒する。



※マスクを同時に着用する場合には、このタイミングで着用する。
(N95マスクに限定するものではない)



③一重目のディスポ手袋を取り出す。



④手首部分のへりを持って、手のひらを差し込む。



⑤レインコートの外側の肩部分を掴み、内側に触れないように注意しながら、袖を通す。

ディスポ手袋+レインコート+ゴーグルの装着手順②



⑥正面のホックを閉める。

レインコートは、着脱をスムーズに行うため、上下一体のワンピース型を使用するのが望ましい。



⑦片方の手でゴムを頭上まで上げ、もう片方の手でプラスチック部分を持って目の周辺に密着させる。



⑧頭上まで持ち上げたゴムを、後頭部で固定する。



⑨ゴーグルと顔の間に隙間がないか、確認する。



⑩二重目のディスポ手袋を装着する。



⑪ディスポエプロンの袖は一重目と二重目の手袋の間に入れる。



⑫装着完了。

ディスポ手袋+レインコート+ゴーグルの外す手順①



①前面のボタンを引っ張って、すべて外す。



②二重目の手袋を外す。手首付近のヘリを摘まんで、手袋の内側が外側になるようにする。



③両手を斜め後ろに下げ、首・肩から手首のほうへ脱ぎ下ろす。その際、外側が内側になるようにする。



④外側が内側になった状態で、外側には触れないようにして丸める。



⑤丸めたレインコートは、必ずビニール袋に入れ、口をしっかりと閉じてから、ゴミ箱へ破棄する。



⑥ゴムバンドに触れずに、プラスチック部分を握って、引っ張りあげてゴーグルを外す。

ディスポ手袋+レインコート+ゴーグルの外す手順②



⑦一重目の手袋の片側のへりを摘まんで、手袋の内側が外側になるように外す。



⑧先に外したほうの手の指で、もう片方の手袋のへり部分を引っ掛けて、内側が外側になるように外す。



⑨手袋は、必ずビニール袋に入れ、口をしっかりと閉じてから、ゴミ箱へ破棄する。



⑩手を洗う。

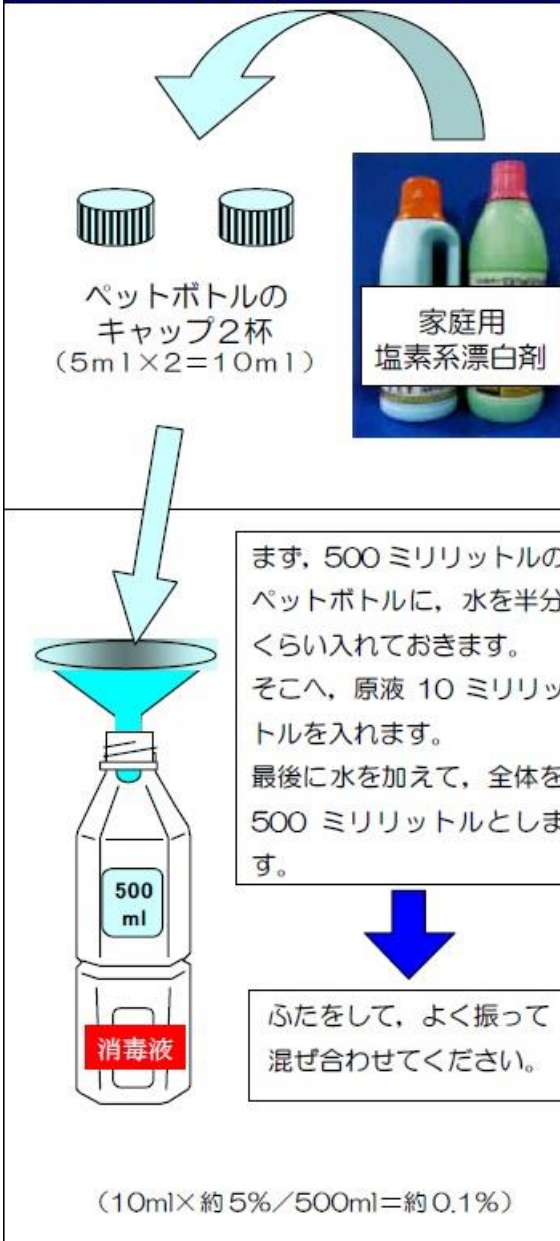


⑪手指消毒する。

■消毒

ドアノブなどの手指がよく触れる場所は、消毒剤を浸したペーパータオル等によるふき取り消毒を行いましょう。消毒剤は手など皮膚の消毒を行う場合には、消毒用エタノールを、物の表面の消毒には次亜塩素酸ナトリウム（製品に表示されているとおり希釈したもの）も有効とされています。

0.1%（1,000ppm）消毒液の作り方



0.02%（200ppm）消毒液の作り方

